



発行所
株式会社 中外日報社
©中外日報社2012

京都総本社 〒601-8004 京都府南区東九条東山王町9
電話 (075)671-3211(代)
FAX (075)671-2140

東京本社 〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-13
電話 (03)3816-4721(代)
FAX (03)3811-5222

http://www.chugainippoh.co.jp
Eメールhenshu@chugainippoh.co.jp

寄稿

ス・オン・マイ・サイ「モノリザの微笑」で大きな盛り上がり、さらには「銀河のロマン」を見せる。時の流れは「ス」青い鳥「君だけに今僕のもとに。君は必ず愛を」とかつてのヒット曲が演奏され、今回40年ぶりに芸能活動を再開した瞳みなの十八番「ジグソーパズル」の最終公演が催された。1月24日の武道館、かつて彼らが解散コンサートをを行った同じ日、同じ場所である。デビュー前の彼らが京都公会館のアマチュア・コンテストで優勝を収めた思い出の曲、ザ・ビートルズの「ミスター・ムーンライト」で始まったコンサートは、3曲目のザ・ローリング・ストーンズの「タイム・イズ」

磯前 順一

国際日本文化研究センター准教授

四郎の登場であらう。兄たちの背後にも老いが迫るが戻って来てくれた一徳に支えられてステーションの中央に進み、椅子に身をあげた四郎は、身体の不自由さと闘いながら、会場を温かい声援に包みこむ。瞳みなの十八番「ジグソーパズル」の最終公演が催された。1月24日の武道館、かつて彼らが解散コンサートをを行った同じ日、同じ場所である。デビュー前の彼らが京都公会館のアマチュア・コンテストで優勝を収めた思い出の曲、ザ・ビートルズの「ミスター・ムーンライト」で始まったコンサートは、3曲目のザ・ローリング・ストーンズの「タイム・イズ」

ときめく力を今一度……

沢田研二・武道館コンサートより

励まされて懸命に当時の本来この曲のボーカリス持ち歌を歌った。それは確かに感涙を誘う情景であった。しかし同時に、メンバー全員がすでに遠慮を過ぎたように、自分

退で空いた穴は依然埋まらぬまま、ファンたちもまたそれぞれ人生の悲喜ももろもろを経験して年を重ねてきたのだ。

確かに私たちは、もうこの人生に対する希望と

たのかもしれない。だが成する方針を決めたというのではない。ときめいて

らこそ、タイガースの元メンバートちは、1月24日の武道館という聖なる記憶の空間に再びファンたちを招集することで、自分たちの老いというものはやがたがえぬ流れを引き受けた上で、もう一度かつてのような人生に

たが取り戻さず、その音楽を通して誘って

あつたことも偶然ではあ

るまい。しかし、それは

だけ美しいのではない。ヒビ割れた傷が乱射する輝きもまた味わい深いものとなる。この1年間、日本の社会そのものも大きく傷つき揺らい

吹き込むという解のも

とでの決定だったと聞

の思いは、今回の再

に、新曲は一切作ら

い続ける加橋と同じで

あつた。今がうまくい